

「品質管理実践」

開催日時：令和7年10月29日（水）9:30～16:30（申込締切日：令和7年10月8日（水））
 訓練会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層

ねらい：品質管理の考え方を理解し、不良・クレームゼロを実践するために必要な知識と技能を習得する。

基本項目	主な内容
1 品質管理の進め方	(1) 品質管理と品質保証の考え方 ・不良ゼロの品質保証と良品を作りこむための品質管理の違いや両者の必要性等を解説する。 (2) TQM (Total Quality Management: 総合的品質管理) の考え方 ・顧客満足度の高い商品やサービスを提供するためには、全社・全組織で品質管理に取り組む必要があり、その背景や目的等と活動内容を解説する。 (3) 不良ゼロの意義と効果 ・市場トラブルによる目に見える企業の損失及び潜在的な損失とリスクを理解するとともに不良ゼロの効果を解説する。
2 品質管理活動の推進	(1) 品質管理活動とその問題 ・現場の潜在的な問題によるトラブル防止の考え方や陥り易い盲点を解説する (2) 製造管理のポイント ・品質を造り込むために必要なポイントとその管理ツール、陥り易いヒューマンエラーのメカニズムと対策について解説する。 (3) 作業標準化の考え方と進め方 ・品質を管理するためには、バラツキを押さえ、とミス防止を図ることが重要となり、そのために必要な作業標準化の進め方等について解説する。
3 不良・クレームゼロの実践	(1) トラブルゼロのための活動体系 ・TQMによる全社的取り組みとして、構想企画から、設計、製造、販売部門までが参画した品質トラブルの未然防止活動を解説する。 (2) トラブルゼロのためのツール ・未然防止対策のツールと取り組み考え方として、FMEA、FTA、リスクアセスメント、変更管理について解説する。 (3) 不良・クレーム発生の原因分析と対応 ・過去のトラブルの発生原因、流出原因解析のため、『根本原因解析法』の考え方と品質情報処理管理推進のポイントを解説する。

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



佐藤 和司 / パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

今までの簡易的な経歴：パナソニックで薄膜形成技術セミナー講師を担当し、故障解析や分析技術セミナーも実施。2014年からはコンサルとして中国広州や国内で品質管理のコンサル支援を行い、仕入れ先品質改善セミナーも担当。2021年度からは生産性向上支援訓練の品質管理コースを担当し、現在も継続中。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

品質におけるトラブルを予測し、未然防止できる能力・考え方を身に付ける事を目標として作成しています。